

# 6月 小島小だより

令和 4. 6. 16

揖斐川町立小島小学校

## トラブルは早期発見、早期解決へ

校長 高木 俊紀

6月15日の新聞に、「4年前の『いじめ』調査へ」という記事がありました。県内の学校で4年前に起きたいじめにより、いまだに児童の不登校が続いているというもので、「市教委は重大事案が発生したものと調査する」と書かれています。学校に勤務するものとして、その学校での対応や指導があいまいなままに終わってしまったとは考えられません。また、どの学校でも、もちろん小島小学校でも今日にでも起きる可能性があることとして、厳粛に受け止めています。



いじめや問題行動は、はじめから根深く重大事案であるものはほとんどありません。ちょっとした意見や思いの食い違い、誤解などの小さなことから始まり、気付かずにいるうちに根深く、重大なことへと発展していくものです。大切なことは、初期に気付いて対応し、小さな芽のうちに解決を図ることです。我慢をして、さらに我慢をして、どうしようもなくなってから家族に話し、そして学校に連絡、相談をいただくということもあります。また、家族の方から、「こんなことを学校に相談してもいいのかどうか・・・」というお話を伺うこともあります。いやいや、「こんなこと」のうちに解決を図ることこそ大切なのです。

「これくらい」や「こんなこと」のうちに、ぜひ担任に相談をすること。小島小学校の職員は、困ったり悩んだりしている人の味方であり、一緒になって解決の方法を考えたり、相手がある場合は、注意をしたり話し合ったりして解決をする。担任だけでは解決ができそうにない時は、校長や教頭、生徒指導担当など、多くの職員で考え、知恵を出し合って解決を図ること。もちろん、仕返しなどは絶対に許すはずがなく、解決をした後も、また同じことが起きないようにずっと見守っていくこと。これらは、これまでに幾度となく児童に話し、保護者の皆さんにもお伝えしてきたことです。

未然防止が何より大切なことと考え、日々児童を見守り指導をしています。それでも辛い思いや悲しい思いをしてしまう児童が生まれてしまいます。早期に発見、早期に解決をして、すべての児童が気持ちよく学校生活を送ることができるように、一緒に児童を見守っていきましょう。

## 学校生活におけるマスク着用について

コロナウイルス感染者数は徐々に少なくなりつつありますが、なかなか安心できる状況にはなりません。このような中、感染防止に十分な配慮をし、少しずつ学習活動の範囲を広げつつあるところです。

さて、マスクの着用は引き続き基本的な感染防止対策であることには変わりありません。しかし、6月17日からは最高気温の予想が30度を超え、感染症よりも熱中症による健康被害のリスクが高くなります。学校では、すでに、登下校や休み時間には積極的にマスクを外すように児童に呼びかけています。また、体育の時間には、必要に応じて外すことを担任から指示をしています。登校時に暑いような日は、マスクを外すよう家庭でも指示いただけるとよいと思います。

### **保護者によるお迎え下校のお願い**

お迎えの児童は、安全のため来賓玄関前で待機します。保護者の方は、車を駐車して、お子さんを玄関前まで迎えに来てください。よろしくお願いいたします。



# 米作り体験活動が始まりました！（どろんこ遊び、田植え）



毎年、4年生の総合学習の授業として米づくり体験活動を行っています。今年は、地域の方のご協力で、学校近くの休耕田だった場所を準備していただきました。5月30日に、田んぼに親しむ「どろんこ遊び」を行い、田んぼの中で、ドッジボールをしたり走り回ったりして楽しみました。6月9日には、田植えをしました。「おいしいお米を作りたい。」と張り切って活動しました。



## 授業参観ありがとうございました！

大勢の保護者の皆様にご参観いただきありがとうございました。4月に引き続き、新型コロナウイルス感染防止のためにライブ配信となりましたが、お子さんの学校での様子はいかがだったでしょうか。ご家庭で、お子様の様子や授業について話題にしていただけると幸いです。学級懇談会は設けませんでした。ご相談やお話したいことがございましたら、学校まで連絡してください。



## 今年もやります！FBC！！



今年もFBCに向けて、花作りを始めます。園芸委員を中心に種をまき、1～3年でポットに土入れをし、4～6年でポットへの苗植えをしました。この活動で自然に親しみ、命を慈しむ心を育てたいと思います。また、今年も花壇ボランティアとして6名の保護者や地域の方にお世話になります。

## 5年生ふじはし研修

～初夏の風に吹かれて～



## 12年生 春の遠足

～手を取り合って歩ききりました～



